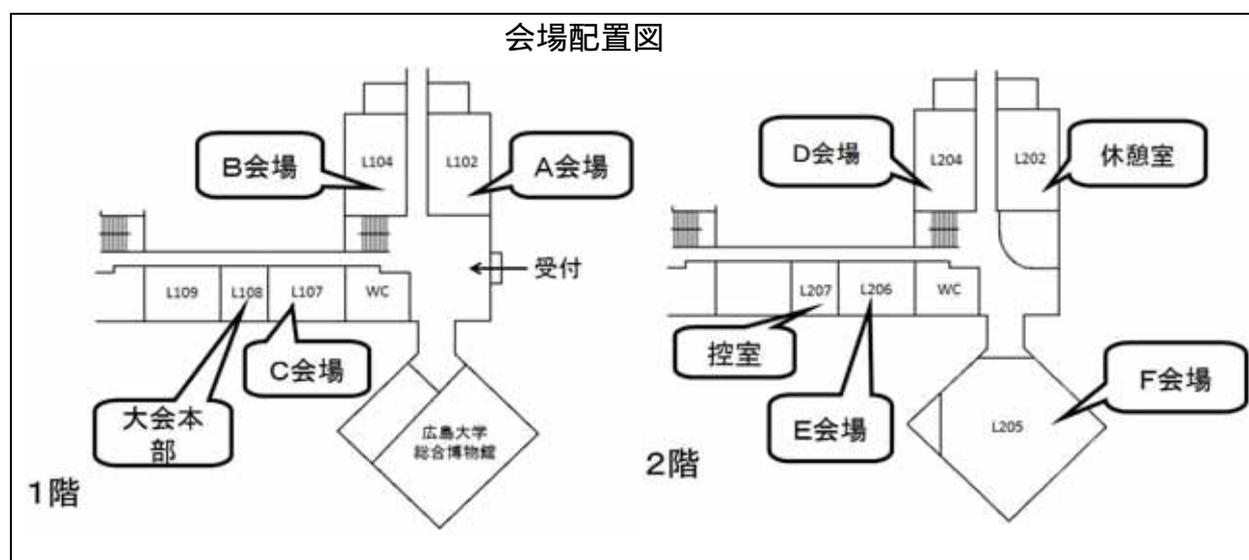


日本環境学会 東広島大会（第39回研究発表会）プログラム

- 開催日程：2013年6月15日（土）・16日（日）・17日（月）
- 会場：広島大学東広島キャンパス
〒739-8524 東広島市鏡山一丁目1番1号（教育学部）
会場アクセス <http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/higashihiroshima/>
JR 山陽本線「西条駅」から広島大学行きバス（280円）約20分 広大北口下車
山陽新幹線「東広島駅」からタクシー（約1,600円）約14分
注）バス停から会場までの経路は末尾の地図をご覧ください。
- 費用：参加費（予稿集代を含む）：一般会員 4,500円 院生会員 3,500円
非会員 5,500円
予稿集代：1,500円
懇親会費：一般会員 5,000円 院生・学生 3,000円
- 大会実行委員会事務局：日本環境学会 第39回大会実行委員会
実行委員長：佐藤 高晴
事務局：市川 浩、大西 康史、小倉 亜紗美、佐久川 弘、竹田 一彦、
土井 美枝子、松村 幸彦、竹下 俊治
〒739-8521 東広島市鏡山 1-7-1 広島大学 総合科学研究科 佐藤高晴 宛
TEL：082-424-6520 FAX：082-424-0758（事務室）
E-mail：jaes@hiroshima-u.ac.jp



- 1F L108 教室：本部
- 1F ロビー：ポスター展示・企業展示
- 2F L205 (F会場)：公開シンポジウム
- 2F L202 教室：休憩室

6月15日(土) 受付 9:00～(教育学部L棟1Fロビー)					6月16日(日) 受付 9:00～(教育学部L棟1Fロビー)					
	A会場 L102	B会場 L104	C会場 L107	D会場 L204	E会場 L206		A会場 L102	B会場 L104	C会場 L107	D会場 L204
9:40						9:20		環境経 済・環境 政策		
10:50	地球環 境・エネ ルギー問 題	環境経 済・環境 政策	廃棄物・ 都市問 題	自由演 題	セミナー	10:30	地球環 境・エネ ルギー問 題	環境教 育・環境 哲学	大気汚 染問題	土壌・水 質汚染 問題
11:35	生態系・ 動植物へ の影響					11:25				自由演 題
12:00	昼食休憩 旧幹事会(D会場12:00～12:50)					12:10	ポスターセッション コアタイム (1Fロビー)			
13:00	日本環境学会総会 (F会場 L205)					12:40	昼食休憩 新幹事会(D会場12:50～13:40)			
14:30	公開シンポジウムⅠ (F会場 L205)					12:50				
17:40						13:50	公開シンポジウムⅡ (F会場 L205)			
18:10	懇親会 (広島大学学士会館1F レストラン La Boheme ラ・ボエーム)					17:00				
20:10										

6月17日(月) エクスカーション:

テーマ: 地域の小水力発電関係施設と酒造組合などの環境を守る取り組みの見学

集合場所と時間: 西条駅(8:20)あるいは、伯和ホテル駐車(8:30)

担当: 佐藤高晴

第39回日本環境学会 公開シンポジウム

「再生可能エネルギーが拓く地域の未来」

第1日 6月15日(土): 14:40～17:40 会場: 2F L205 (F会場)

後援: 東広島市(予定)

開催の趣旨

化石燃料や原子力発電を中心とした従来のエネルギー構造からの転換を進めていくためには、国レベルでの政策転換とあわせて、地域単位での省エネと再生可能エネルギーの推進によるエネ

ルギー自立が重要となる。市民や地域が主体となった再生可能エネルギーの取り組み報告から、地域の活性化やまちづくりにつながる再生可能エネルギー普及のあり方や課題について検討する。

座長：上園昌武（島根大学）

14:40～14:50 学会長の挨拶（新・日本環境学会会長）

14:50～14:55 シンポジウムの趣旨説明

第1部 基調報告（30分）

14:55～15:25 S-01 「市民・地域が進める再生可能エネルギー普及」
和田武（元・立命館大学）

第2部 ディスカッション（60分）

15:25～15:40 S-02 報告1「岡山市との協働による市民共同発電所づくり」
廣本悦子（おかやまエネルギーの未来を考える会）

15:40～15:55 S-03 報告2「地域住民主体の市民小水力発電所を実現する！」
古谷桂信（高知小水力利用推進会議）

15:55～16:10 S-04 報告3「『上質な田舎』を目指した、低炭素モデル社会の創造」
上山隆浩（岡山県西粟倉村）

16:10～16:25 S-05 報告4「中国地方の小水力発電」その歴史と今後の展望
沖武宏（イームル工業株式会社 顧問）

***** 休憩（16:25～16:40）*****

休憩中に参加者の質問と提案に関する用紙の回収

第3部 総合討論（60分）

16:40～17:30 報告者と参加者による総合討論

17:30～17:40 まとめ（座長）

第39回日本環境学会 公開シンポジウム

「持続可能な社会に向けて、地域における大学の役割を考える」

第2日 6月16日（日）：13:50～17:00 会場：2F L205（F会場）

共催：広島大学総合科学研究科資源エネルギープロジェクト

後援：東広島市（予定）

開催の趣旨

エネルギーの自立を進め持続可能な社会を構築していく上で、多くの制約はあるにしろ、大学には大きな役割を担える可能性があります。同じ方向性は持ちながらも、いろいろの立場で地域においてユニークな活動をされている方々に活動を語って頂くと共に、大学の、あるいは大学人の、エネルギーの自立を進め持続可能な社会に向けた活動の課題と可能性を共に考えます。

座長：佐藤 高晴（広島大学）

13：50～13：55 吉田 光演・広島大学総合科学研究科長の挨拶

13：55～14：00 シンポジウムの趣旨説明 座長

第1部 事例報告

14：00～14：25 S-06 地域特性を活かした楽しい低炭素社会構築の試み
宝田 恭之、小島 由美（群馬大学理工学研究院環境創生部門）

14：25～14：50 S-07 地域社会の環境教育拠点をめざすフェリス女学院大学の
エコキャンパス活動の経緯と成果
佐藤 輝（フェリス女学院大学 国際交流学部）

***** 休憩（14：50～15：00）*****

15：00～15：25 S-08 目指すべき社会像を作り上げる船頭役を果たそう
～産官学民のつなぎ役に～
小倉 亜紗美（広島大学国際センター）

15：25～15：50 S-09 気候ネットワークの活動と大学との連携
田浦 健朗（気候ネットワーク）

***** 休憩（15:50～16:05）*****

休憩中に参加者の質問と提案に関する用紙の回収

第2部 総合討論

16：05～16：50 報告者と参加者による総合討論

16：50～17：00 まとめ（座長）

セ ミ ナ ー

第1日 6月15日（土） 9：40～11：50 E会場（L206）

題目：大気汚染の環境測定と新しい展開

開催の趣旨

本セミナーは、持続可能な社会の実現のために、演者と参加者とで大気汚染を測定する意義や役割を共有したいと考えている。これまで多くの大気汚染簡易測定技術を開発した天谷和夫氏による最新測定法を紹介するとともに、この技術の経過や現在測定している団体からの報告を合わせて、今後の測定運動について考える。

座長：長屋祐一（三重大学）

部 最新測定法について

9:40～9:55 S-10 大気汚染の測定から「みえる」もの
長屋祐一（三重大学）

9:55～10:35 S-11 大気汚染の測定技術と活用 最新測定法について

天谷和夫（元群馬大学）

10:35～10:45 最新技術の使用実感などのディスカッション

座長：粟屋かよ子（四日市大学）

II部 簡易測定運動と今後の展望

10:50～11:10 S-12 天谷式カプセルによる測定運動のレビューと今日的意義
伊藤章夫（千葉あおぞら連絡会）

11:10～11:30 S-13 簡易測定法を使つての実際
鈴木一義（市川の空気を調べる会）

11:30～11:50 ディスカッション

一般報告プログラム（連名発表の場合、印が講演者）

A会場（L102）

第1日 6月15日（土） 9:40～11:50

地球環境・エネルギー問題

（座長：横山裕道）

9:40～9:55 A-01 インドのJNNSMによるソーラー利用の進展状況について
和田幸子（元 神戸市外国語大学）

9:55～10:10 A-02 インドネシアにおける省エネ/エネルギー効率促進にむけた方策の
検討
渡未絢（川崎市環境総合研究所）、片山秀史（地球環境戦略研究
機関）

10:10～10:25 A-03 シェーナウ電力会社（EWS）とエネルギー分野における住民運動
及川齊志

*****休憩（10:40～10:50）*****

地球環境・エネルギー問題

（座長：和田幸子）

10:50～11:05 A-04 エネルギー自立地域の意義と実現可能性
上園昌武（島根大学）

11:05～11:20 A-05 原発被災者が古里に戻るには～避難区域再編に水をさす除染の遅れ
～
横山裕道（淑徳大学）

11:20～11:35 A-06 市民モニタリングの重要性とその課題：市民科学確立の要件
小堀洋美・小松直哉（東京都市大学環境学部）

生態系・動植物への影響

11:35～11:50 A-07 和暦を用いた江戸と現在の生物季節の比較
小松直哉、小堀洋美、北村亘（東京都市大学）

第2日 6月16日(日) 9:20~11:55

地球環境・エネルギー問題

(座長:阿部博光)

9:20~9:35 A-08 広告活動における利用媒体の変化による環境負荷削減効果と広告効果の検証

井上はづき(滋賀県立大学環境科学部環境政策・計画学科)

9:35~9:50 A-09 家庭の節電行動の実態把握と規定要因分析 照明分野を対象として

堀井宏祐希(滋賀県立大学環境科学研究科環境計画学専攻)

9:50~10:05 A-10 業務部門事業所の省エネルギー対策実施例

歌川学、小杉昌幸(産総研)

10:05~10:20 A-11 気候変動・エネルギー政策に関する自治体の動向~自治体アンケート調査報告~

豊田陽介(特定非営利活動法人気候ネットワーク)

*****休憩(10:20~10:30)*****

地球環境・エネルギー問題

(座長:歌川学)

10:30~10:45 A-12 温泉発電普及への展望

阿部博光(別府大学国際経営学部)

10:45~11:00 A-13 地域主体型再生可能エネルギー事業形成に関する課題と方向性に関する考察

木村啓二(公益財団法人自然エネルギー財団)

11:00~11:15 A-14 日本の電力買取制度と再生可能エネルギー普及;現状と課題

和田武(元 立命館大学)

*****休憩(11:15~11:25)*****

(座長:豊田陽介)

11:25~11:40 A-15 地域内再生可能エネルギー事業における主体・合意形成

藤谷岳、古谷直道、管剛文(協同総合研究所)

11:40~11:55 A-16 地元産木材の利用による省エネ型木造住宅の普及拡大-町家の現代的再生と低炭素型社会の構築-

北川秀樹(龍谷大学)

B会場(L104)

第1日 6月15日(土) 9:40~11:50

環境経済・環境政策

(座長：河内俊英)

- 9：40～9：55 B-01 兵庫県尼崎市のアスベスト災害と地域・産業・社会構造の考察
南慎二郎（立命館大学）
- 9：55～10：10 B-02 鉾山閉山地域における地域再生政策：高知県大川村を事例に
関耕平（島根大学法文学部）
- 10：10～10：25 B-03 農林水産業を基軸とした地域おこしの課題 - 富山県氷見市の事例 -
林節男（富山県立大学 非常勤講師）
- 10：25～10：40 B-04 地域づくり型温暖化対策推進のためのパートナーシップ組織の構築
に関する考察 愛媛県内子町における実践の成果と課題
平岡俊一（北海道教育大学釧路校）、的場信敬、井上芳恵（龍谷
大学政策学部）、豊田陽介（NPO 法人気候ネットワーク）、多比良
雅美（内子町役場環境政策室）、多比良康彦（NPO 法人環境 NPO
サン・ラブ）

*****休憩（10：40～10：50）*****

環境経済・環境政策

(座長：林節男)

- 10：50～11：05 B-05 TPP は日本を滅ぼす
河内俊英（久留米大学比文研）
- 11：05～11：20 B-06 中国甘肅省石羊河、黒河流域における農村水資源の管理システムと節
水政策
寇鑫（龍谷大学政策学研究科）
- 11：20～11：35 B-07 企業と地域社会の伝統的知識の利用配分を巡る交渉と課題 - ブラジ
ルを事例にして
大瀧正子（龍谷大学アフラシア多文化社会研究センター）
- 11：35～11：50 B-08 アメリカ・ニューメキシコ州におけるスーパーファンドサイト対策の
取り組み
安田圭奈江（大阪市立大学大学院経営学研究科附属先端研究教育セ
ンター）

第2日 6月16日（日） 9：20～11：55

環境経済・環境政策

(座長：佐藤 輝)

- 9：20～9：35 B-09 国際政治経済の変化と地球環境ガバナンス：気候変動ガバナンスの
事例
横田 匡紀（東京理科大学）
- 9：35～9：50 B-10 新しい環境・経済統合勘定について
氏川恵次（横浜国立大学）

- 9 : 50 ~ 10 : 05 B-11 ウィンズケール火災事故直後の情報開示
松田真由美 (公益財団法人 政治経済研究所)
- 10 : 05 ~ 10 : 20 B-12 ICRP 「公衆被ばく線量限度 1 mSv/年」設定根拠等に関する考察
小野塚春吉 (公益財団法人 政治経済研究所)

*****休憩 (10 : 20 ~ 10 : 30) *****

環境教育・環境哲学

(座長 : 氏川恵次)

- 10 : 30 ~ 10 : 45 B-13 明舞団地における自然学習・環境教育活動の成果と課題
○西川祥子、森家章雄 (兵庫県立大学)
- 10 : 45 ~ 11 : 00 B-14 沖永良部島における湧水地と集落の関係性に着目したESD実践の考察
萩原豪 (鹿児島大学)、元木理寿 (常磐大学)、野村卓 (北海道教育大学釧路校)
- 11 : 00 ~ 11 : 15 B-15 環境教育のための学校と地域社会との連携
土井美枝子 (広島大学大学院社会科学研究科 博士課程後期生)

*****休憩 (11 : 15 ~ 11 : 25) *****

環境教育・環境哲学

(座長 : 小野塚春吉)

- 11 : 25 ~ 11 : 40 B-16 南太平洋のキリバス共和国における環境フィールド実習の実施および参加した大学生の反応
佐藤輝 (フェリス女学院大学)
- 11 : 40 ~ 11 : 55 B-17 グリーンコンシューマーの現状と課題 ~ 国・産業界の仕組み作りと消費者の反応 ~
蒲生孝治 (京都女子大学)

C 会場 (L107)

第1日 6月15日(土) 9:40 ~ 11:50

廃棄物・都市問題

(座長 : 塩飽敏史)

- 9 : 40 ~ 9 : 55 C-01 鹿児島県志布志市・大崎町における一般廃棄物リサイクル率日本一の秘訣
八木正 (鹿児島国際大学短期大学部)
- 9 : 55 ~ 10 : 10 C-02 廃車処理による環境問題と自動車リサイクル産業の変化 - 1970年代を対象として -
浅妻裕 (北海学園大学)
- 10 : 10 ~ 10 : 25 C-03 「公共」土木工事と都市住環境の安全性 - 広島市二葉山トンネルの事例

坂巻幸雄（元 地質調査所）

*****休憩（10：40～10：50）*****

廃棄物・都市問題

（座長：浅妻裕）

- 10：50～11：05 C-04 海底ごみ問題の現状分析～瀬戸内沿岸各漁協へのアンケート調査（2011）から～
塩飽敏史（公益財団法人水島地域環境再生財団）、磯部作（日本福祉大学子ども発達学部）
- 11：05～11：20 C-05 海底ごみ対策の現状と課題～瀬戸内沿岸各漁協へのアンケート調査（2011）から～
磯部作（日本福祉大学子ども発達学部）、塩飽敏史（公益財団法人水島地域環境再生財団）
- 11：20～11：35 C-06 東日本大震災がれき広域処理の問題点
畑明郎（元 大阪市立大学）
- 11：35～11：50 C-07 廃プラスチックリサイクル施設から排出される化学物質
長野晃（廃プラ処理による公害から健康と環境を守る会）

第2日 6月16日（日） 9：20～11：55

大気汚染問題

（座長：知足章宏）

- 9：20～9：35 C-08 全国、千葉県及び千葉市の学校保健統計等における喘息被患率の比較・検討
伊藤章夫（千葉あおぞら連絡会）
- 9：35～9：50 C-09 北但ごみ焼却施設新設問題点と建設予定地でのNO₂捕集管測定結果
後藤隆雄（元 神戸大学工学部）
- 9：50～10：05 C-10 住民による大阪府全域の天谷式カプセル（タイプ ）を用いたNO₂濃度測定の結果 第7回大阪NO₂簡易測定運動（ソラダス2012）の報告（1）
久志本俊弘、西川榮一、喜多善史、後藤隆雄、長野晃（公害環境測定研究会）、岩本智之、中村毅、中森芳明（大阪から公害をなくす会）
- 10：05～10：20 C-11 大阪住民によるNO₂濃度測定と健康アンケート調査 第7回大阪NO₂簡易測定運動（ソラダス2012）の報告（2）
長野晃、西川榮一、久志本俊弘、喜多善史、後藤隆雄（公害環境測定研究会）、中村毅、中森芳明（大阪から公害をなくす会）

*****休憩（10：20～10：30）*****

大気汚染問題

(座長：武本行正)

- 10:30~10:45 C-12 環境影響評価制度を活用した、大気環境改善の運動～東電川崎火力再増設計画の場合
神戸治夫(川崎から公害をなくす会)
- 10:45~11:00 C-13 東電福島第一原発事故1年後の、市内空气中放射線量測定結果について(その2)
神戸治夫(川崎から公害をなくす会)
- 11:00~11:15 C-14 チェルノブイリ原発事故結果からの福島第一原発事故後の汚染経過の検討
後藤隆雄(元 神戸大学工学部)

*****休憩(11:15~11:25)*****

大気汚染問題

(座長：長野晃)

- 11:25~11:40 C-15 北京市の大気汚染と関連政策
知足章宏(立命館大学 非常勤講師)
- 11:40~11:55 C-16 モンゴル・ウランバートル市の大気汚染(続報)
武本行正、高橋正昭、粟屋かよ子(四日市大学環境情報学部)
竹内佐智恵(三重大学医学部看護学科)
- 11:55~12:10 C-17 モンゴル ウランバートル市における使用燃料と健康状態の関連性
竹内佐智恵(三重大学)、伊藤薫(四日市看護医療大学)、
草川好子(元 三重県立看護大学)、田村麻紀(公益財団法人国際環境技術移転センター)

D会場(L107)

第1日 6月15日(土) 10:50~11:50

自由演題

(座長：平岡俊一)

- 10:50~11:05 D-01 環境アセスメント関連訴訟における損害 アメリカにおける議論を中心に
森田崇雄(同志社大学大学院法学研究科博士後期課程)
- 11:05~11:20 D-02 多様な立場を収束する試み -環境プラグマティズムを超えて-
柿沼美穂(国立環境研究所 地球環境研究センター)

第2日 6月16日(日) 9:20~11:55

土壌・水質汚染問題

(座長：尾崎宏和)

- 9：20～9：35 D-03 兵庫県内河川源流上流における不法投棄による細菌学的汚染調査
北元憲利、加藤陽二(兵庫県立大 環境人間学部)
- 9：35～9：50 D-04 横浜市緑区における地下水の硝酸イオン濃度と土地利用との関係
咸泳植、田澤慶太郎、加藤篤美(東京都市大学環境情報学部環境
情報学科)
- 9：50～10：05 D-05 福島放射能除染対策の問題点
畑明郎(元 大阪市立大学)
- 10：05～10：20 D-06 福島第1 原発事故による土壌汚染の除染の現状
南相馬市・川内村の事例から
佐藤克春(一橋大学 特任講師)

*****休憩(10：20～10：30)*****

土壌・水質汚染問題

(座長：畑明郎)

- 10：30～10：45 D-07 多摩川流域における河川水と堆積物中の重金属元素類の上流域から
下流域の濃度変化
大友一夫、鶴田彩、中田正隆、鹿園直建(東京学芸大学)
- 10：45～11：00 D-08 江戸川区小松川日本化学工業跡地付近、鉍滓汚染再燃か？高レベル六
価クロムの溶出
尾崎宏和(東京農工大学 環境リーダー育成センター)、大野由
芙子、野村あづみ、佐藤幸太(東京農工大学農学部環境資源科学科)、
一瀬寛、渡邊泉(東京農工大学大学院物質循環環境科学専攻)
- 11：00～11：15 D-09 酸性雨による土壌酸性化と有害金属性物質の溶脱に関する研究：横浜
市を事例として
咸泳植、青木孝仁、上原雄介、榎本弥生、(東京都市大学環境情
報学部環境情報学科)

*****休憩(11：05～11：25)*****

自由演題

(座長：伊藤章夫)

- 11：25～11：40 D-10 私の見たリオ+20 政治と科学の違い
天谷和夫(元 群馬大学)
- 11：40～11：55 D-11 簡易測定器を活用した市民参加の国連による国際政治の改革
天谷和夫(元 群馬大学)
- 11：55～12：10 D-12 持続可能な社会に必要な目に見えない改革の課題の発掘
天谷和夫(元 群馬大学)

ポスター発表（連名発表の場合、印が講演者）

コアタイム

第2日 6月16日（日） 12:20~12:40 会場 1F ロビー

（座長：長屋祐一）

- P-01 上海におけるSPMの調査報告
中山榮子（昭和女子大学大学院）、野崎あゆみ（住友不動産（株））、
神部順子（江戸川大学）、長嶋雲兵、青山 智夫（産業技術総合研究所）
- P-02 伝統的な果実「柿」を基軸とした地域おこしの課題 - 東アジアと日本各地の事例 -
林 節男（富山県立大学 非常勤講師）
- P-03 文明の生命システム論からみる環境問題に対する教育と科学技術の役割
川村邦男（広島修道大学 人間環境学部）
- P-04 持続可能な社会に向けて、地域における大学の役割を考える - 広島大学での試み -
佐藤高晴、フंक・カロリン、隠岐さや香（広島大学大学院総合科学研究科）、
松村幸彦（広島大学大学院工学研究科）、小倉亜紗美（広島大学国際センター）

エクスカージョン

（担当：佐藤高晴）

開催日：6月17日（月）

テーマ：地域の小水力発電関係施設と酒造組合などの環境を守る取り組みの見学

集合場所と時間：西条駅（8:20）あるいは、伯和ホテル駐車（8:30）

参加費：4,000円、（昼食弁当代実費別）

<スケジュール>

8:20 ~ 8:30 西条駅集合&バスに乗り込み出発

8:30 ~ 8:40 伯和ホテル駐車場集合&バスに乗り込み出発

9:00 ~ 10:10 東広島浄化センター見学

11:00 ~ 12:00 志和堀発電所

12:40 ~ 13:30 昼食（憩いの森公園でお弁当）

13:30 ~ 16:00 西条山と水の環境機構見学（憩いの森公園）

16:00 ~ 16:30 バスにて移動&解散



バス停から会場までの経路